

**施策体系シート(行政経営Bシート)**

作成者	組織	地域医療推進室	職	室次長	氏名	東谷 俊也
評価者	組織		職		氏名	

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	医師の確保と資質の向上	能登北部自治体4病院における医師充足率	%	100 (H26)	104.0 (H25)	(H26)	H19:84.2%
施策2	医療連携体制の整備	地域連携クリティカルパス等発行数(脳卒中)・活用医療機関数(糖尿病)	発行数 医療機関数	H25比増 (H26)	1,125 (H25)	21 (H26)	上段:脳卒中パス 下段:糖尿病パス

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題						課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)						
施策1	課題1 医師確保対策	能登北部自治体4病院における医師充足率  (H19:84.2%)	%	100 (H26)	104.0 (H25)	(H26)	1 石川の地域医療人材養成支援事業	金沢大学医学類特別枠生	14,000			
							2 ふるさと石川の医療を守る人材ネットワーク推進事業	本県出身の県外在住医師等	2,400			
3 女性医師就業継続支援事業							女性医師	4,000				
4 緊急医師確保修学資金貸与事業							金沢大学医学類特別枠生	132,000				
	課題2 特定診療科医師の確保	小児医療に係る医師数(H18:170人) ※ 厚生労働省が2年毎に調査	人	H18比増 (H26)	179 (H24※)	(H26)	1 地域医療支援医師修学資金貸与事業	小児科・産科・麻酔科医・外科	14,500			
施策2	課題1 医療機関連携の強化	地域連携クリティカルパス等発行数(脳卒中)・活用医療機関数(糖尿病)	発行件数 医療機関数	H25比増 (H26)	1,125 21 (H25) ※2	(H26)	1 地域医療ネットワーク推進事業	地域の開業医	15,000			
							2 いしかわ糖尿病重症化予防ネットワーク事業費	地域の開業医等	8,700			
	課題2 認知症高齢者の早期退院と在宅療養の支援	新規認知症入院患者の2ヶ月以内退院率 ※3 厚生労働省の直近公表値	%	50 (H26)	42.9 (H22※3)	(H26)	1 認知症在宅療養支援事業	地域の開業医、介護従事者等	3,000			

※2 上段:脳卒中パス発行数  
下段:糖尿病パス等活用医療機関数

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 石川の地域医療人材養成支援事業	事業開始年度	H24	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	石川県地域医療再生計画		

作成者	組 織	地域医療推進室		
	職・氏名	専門員 川畑 瑞恵		
	電話番号	076 - 225 - 1449 内線 4109		

1 目的  
緊急医師確保修学資金事業により金沢大学医学類に推薦入学した医学生(特別枠)へのキャリア形成支援、卒業後の医療機関への配置に向けた調整を実施

2 事業内容  
・特別枠医学生・医師のキャリア形成支援  
・特別枠医師の配置にむけた調整

3 委託先  
金沢大学附属病院

4 事業費  
14,000千円/年

**【参考】**  
 ・H21～H23年度に金沢大学に寄附講座(地域医療教育学講座)を設置  
 ・H23年度末に研究の成果として、H24年度以降の特別枠のキャリア形成を支援する体制のあり方に関する提言がなされ、その提言を受けての事業

施策・課題の状況							
施策	医師の確保と資質の向上					評価	
課題	医師確保対策						
指標	能登北部自治体4病院における医師充足率					単位	%
目標値	現状値						
	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	100	93	98.6	105.7	104.0		
事業費							
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
事業費	予算			12,000	13,000	14,000	
	決算			12,000	13,000		
一般財源	予算			6,000	6,500	7,000	
	決算			6,000	6,500		
事業費累計				12,000	25,000	39,000	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)							
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ふるさと石川の医療を守る人材ネットワーク推進事業	事業開始年度	H21	事業終了予定年度		作成者	組織 地域医療推進室 職・氏名 専門員 竹森 敦子 電話番号 076 - 225 - 1449 内線 4109
		根拠法令 ・計画等					

事業の概要

○ 目的  
ふるさと石川の医療大使を委嘱した本県ゆかりの医師と、その人材ネットワークを活用した首都圏在住の医療関係者等を対象とした「ふるさと石川の医療を守る集いin東京」を開催し、意見交換等を行い、能登北部地域の医療の現状について理解を深めていただくとともに、首都圏ネットワークの強化を図りながら、即戦力となるUターン医師の情報収集を行う。

○ 開催時期 平成26年秋頃

○ 開催場所 東京都内

○ 参加者(約50人程度)

- ・医療大使、首都圏ネットワーク関係者
- ・県内医関係者
- ・県関係者

※参加者の募集

- ・ふるさと石川の医療大使から友人・知人の医師に参加を働きかけ
- ・県から首都圏ネットワーク関係者に参加を働きかけ

施策・課題の状況							
施策	医師の確保と資質の向上					評価	
課題	医師確保対策						
	指標	能登北部自治体4病院における医師充足率				単位	%
	目標値	現状値					
	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	100	93	98.6	105.7	104.0		
事業費							
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	予算	1,500	1,500	1,500	1,500	2,400	
	決算	1,066	1,260	825	1,500		
一般財源	予算	1,500	1,500	1,500	750	1,200	
	決算	1,066	1,260	825	750		
事業費累計		1,066	2,326	3,151	4,651	7,051	
評価							
	項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性							
	(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性							
	(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	女性医師就業継続支援事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	石川県医療計画		

作	組	織	地域医療推進室		
成	職	氏名	専門員 竹森 敦子		
者	電	話	番	号	
			076	-	225 - 1449 内線 4109

**事業の背景・目的**

医師不足の中、近年増加する女性医師が出産・育児で離職せず引き続き勤務を続けられるよう、相談窓口として石川県女性医師支援センターを設置し、就業の継続、復職に向けた支援を図る。

**事業の概要**

石川県女性医師支援センター設置運営費  
 (委託先) (社)石川県医師会  
 ※センターの運営にあたっては、県、県医師会、女性医師が多く勤務する病院代表からなる運営委員会を立ち上げて協議

(1) 女性医師メンターの配置  
 女性医師の多い県内13病院に女性医師メンターを配置し、院内における相談対応や情報収集・提供活動を実施

(2) 女性医師支援コーディネーターの配置  
 センター内にコーディネーターを配置し、各メンターの活動をサポートし、メンターからの情報収集などを通じて、女性医師が就労継続しやすくなるための対策の提案を行う

(3) 女性医師支援セミナーの開催  
 先の見えない不安を抱えながら勤務している女性医師に対し、今後も勤務を継続してもらうため、女性医師の目指すべきロールモデルを提示するようなセミナーを開催する

(4) 離職後の再就業や本格的な復帰に不安を抱える女性医師に対する復職研修の実施

(5) 情報収集・提供活動  
 女性医師に配慮する医療機関情報、子育て支援の各種サービス情報の収集・提供を行うほか、女性医師支援につながるような各種調査を実施

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	医師の確保と資質の向上					評価
課題	医師確保対策					
	指標	能登北部自治体4病院における医師充足率			単位	%
	目標値	現状値				
	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	100	93.0	98.6	105.7	104.0	
事業費						
	(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費	予算	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
	決算	2,800	3,200	3,200	3,200	
一般財源	予算	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	決算	800	950	750	750	
事業費累計		2,800	6,000	9,200	12,400	16,400
評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
事業の有効性						
	(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)					
今後の方向性						
	(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)					



# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 地域医療支援医師修学資金貸与事業	事業開始年度	H18	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	石川県地域医療支援医師修学資金貸与条例		
				作 組 織 地域医療推進室
				成 職・氏名 主事 安井 恵理子
				者 電話番号 076 - 225 - 1449 内線 4109

**事業の目的**  
 県内の医師の不足している地域における特定診療科医師の育成及び確保を図るため修学資金を貸与

**事業の内容**  
 将来、知事が定める医療機関において、医師として特定診療科業務に従事しようとする者(医学を専攻する大学生又は大学院生)に対し、修学資金を貸与

対 象 者: 大学生(5, 6年生)、大学院生  
 特定診療科: 小児科、産科、麻酔科、外科  
 貸 与 額: 年額2, 400千円以内  
 募集人員: 新規4名  
 貸与期間: 大学生在学中又は大学院生在学中のいずれかのうち2年以内

※貸与金返還免除条件  
 ①大 学 生: 臨床研修修了後、原則として6年を経過するまでに、貸与期間と同期間、知事が指定する自治体病院で特定診療科の常勤医師として勤務  
 ②大学院生: 大学院修了後、原則として6年を経過するまでに、貸与期間と同期間、知事が指定する自治体病院で特定診療科の常勤医師として勤務

知事が指定する自治体病院  
 珠洲市総合病院、市立輪島病院、公立宇出津総合病院、公立穴水総合病院、公立能登総合病院、町立富来病院、公立羽咋病院、志雄病院、能美市立病院、小松市民病院、山中温泉医療センター、加賀市民病院

貸与実績(新規貸与者)  
 H18-3人、H19-2人、H20-5人、H21-4人、H22-5人、H23-4人、H24-2人、H25-2人

これまでの見直し状況

施策・課題の状況					
施策	医師の確保と資質の向上				評価
課題	特定診療科医師の確保				
指標	小児医療に係る医師数			単位	人
目標値	現状値				
平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
H18比増	174	-	179	-	
事業費					
(単位: 千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 予算	12,100	14,500	14,500	12,100	14,500
事業費 決算	12,100	14,500	7,300	4,900	
一般 予算	12,100	14,500	14,500	12,100	14,500
財源 決算	12,100	14,500	7,300	855	
事業費累計	53,300	67,800	75,100	80,000	94,500
評価					
項目	評価	左記の評価の理由			
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)					
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)					

# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	地域医療ネットワーク推進事業	事業開始年度	H22	事業終了予定年度		作 組 織	地域医療推進室
		根拠法令 ・計画等	石川県医療計画			成 職・氏名	主事 三浦 奈緒美

**事業の目的**  
 県民の幅広い医療ニーズに応えていくためには、各診療科の専門医から適切な診療を受けることが求められるが、一部地域の診療科によっては常勤の専門医が不足し、身近な病院で医療を受けることができない状況であることから、県内全域又は各地域において医療機関等が協力し、専門医不足地域においての診療体制の構築を支援する。

**事業の概要**  
 一部地域で診療支援が必要な「脳神経外科」、「精神科」、「小児科」の各診療分野において、次の事業を実施する。

(1) 実施主体 石川県地域医療支援センター(センターへの補助事業)  
 (H20年度に県と金沢大学附属病院が共同で設立)

(2) 事業内容

① 脳卒中診療ネットワーク事業(脳神経外科)

- ・診療支援として金沢大学附属病院から地域の病院へ医師を派遣
- ・研修会の開催を通じて地域連携クリティカルパスの普及を図り、より活用しやすいようパスの改良にも取り組む。

② 認知症診療ネットワーク事業(精神科)

- ・診療支援として金沢大学附属病院から地域の病院へ医師を派遣
- ・能登北部地域の医療機関を対象とした研修会を開催し、認知症の診療体制の強化を図る。

③ 小児医療連携ネットワーク事業(小児科)

- ・診療支援として金沢大学附属病院から地域の病院へ医師を派遣
- ・南加賀地域における小児医療の連携体制の強化のための合同検討会の開催

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	医療連携体制の整備					評価
課題	医療機関連携の強化					
指標	地域連携クリティカルパス等発行数(脳卒中)・活用医療機関数(糖尿病)				単位	脳卒中:件 糖尿病:機関
目標値	現状値					
	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
H25比増加	-	-	1,094 15	1,125 21		
上段:脳卒中パス発行件数 下段:糖尿病パス等活用機関数						
事業費						
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費 予算	15,000	20,000	20,000	15,000	15,000	
事業費 決算	15,000	19,412	20,000	15,000		
一般 予算	0	0	0	0	0	0
財源 決算	0	0	0	0		
事業費累計	15,000	34,412	54,412	69,412	84,412	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						



# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわ糖尿病重症化予防ネットワーク事業	事業開始年度	H25	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	石川県医療計画		

作組織	地域医療推進室				
成職・氏名	主事 三浦 奈緒美				
者電話番号	076 - 225 - 1468 内線 4126				

1 事業の目的

全国的に糖尿病患者が増加する中、血糖コントロール不良により腎症等の合併症を発症し、重症化に至る患者が多く、本県においても糖尿病性腎症を原因とする新規透析患者数が増加傾向にある。  
血糖コントロール不良患者の専門医療機関への受診を徹底する体制を構築し、糖尿病の重症化を防止することにより、新規透析患者数の減少を図る。

2 事業の概要

(1) 地域単位の取組み

郡市医師会ごとに設置した、糖尿病の予防と治療に関わる、市町(保健部局)、かかりつけ医、専門医療機関からなる「糖尿病地域連携協議会」により、専門医療機関への受診を勧奨

- 紹介・逆紹介ルール、受診勧奨ルールを徹底するための仕組みづくり
  - ・検討会の開催  
連携体制の在り方や患者の紹介基準等のルールの普及に向けた検討を行うとともに、相互の信頼関係を構築
  - ・医師と患者がルールを共有できるよう連携パスにルールを記載し、徹底を図る
  - ・研修会の開催  
紹介ルールや連携の在り方等に関する研修を行いルールの徹底を図る  
患者の状態に応じた適切な治療・指導法に関する研修を行い、かかりつけ医による初期診療レベルの向上を図る
  - ・受診勧奨用パンフレット(ルール・医療機関リストを明示)の作成

(2) 県単位の取組み

県医師会による地域の協議会活動の支援や県民への予防の重要性の啓発を実施

- 協議会活動の支援
  - ・糖尿病対策支援チームの派遣  
糖尿病の専門家からなる支援チームを派遣し、各協議会の活動に助言するなど支援を実施
  - ・糖尿病対策の取組み成果を披露する発表会の開催  
各地域の協議会による連携の取組み成果を披露
- 普及啓発
  - ・県民フォーラムの開催

これまでの見直し状況

施策・課題の状況						
施策	医療連携体制の整備					評価
課題	医療機関連携の強化					
指標	地域連携クリティカルパス等発行数(脳卒中)・活用医療機関数(糖尿病)				単位	脳卒中:件 糖尿病:機関
目標値	現状値					
	平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
H25比増加	-	-	1,094 15	1,125 21		
上段:脳卒中パス発行件数 下段:糖尿病パス等活用機関数						
事業費						
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費: 予算				10,000	8,700	
一般 決算				8,970		
財源: 予算				1,000	1,000	
事業費累計	0	0	0	8,970	17,670	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						



# 事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 認知症在宅療養支援事業	事業開始年度	H26	事業終了予定年度		作組織	地域医療推進室	
	根拠法令 ・計画等	石川県医療計画			成職・氏名	専門員 山本 瑞輝	
					者電話番号	076 - 225 - 1468 内線 4126	

1 事業の目的  
 認知症患者が住み慣れた地域で生活していくことができるよう、精神科病院やかかりつけ医、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、介護支援専門員など各地域の医療と介護が連携し、認知症患者とその家族を支えていく仕組みを県内各地に普及させることを目的とする。

2 事業の概要  
 認知症患者を、医療・介護が連携し、地域で支えていくための知識や技術を県内各地に普及するため、次の事業等を実施

①集合研修  
 認知症患者の在宅療養の推進役となる各地域のリーダー(精神科病院の医師等)を養成

②実地研修  
 集合研修修了者などを対象に、多職種連携における自身の役割などを学んでもらうため、県立高松病院で、チーム医療の現場や退院後の自宅への訪問支援などを体験する実地研修を実施。

③事例研修会(各地域において実施)  
 医療と介護関係者が参加し、医療と介護が連携した支援方法等を学ぶため、リーダーを講師に過去の事例を基にした事例研修会を開催  
 (併せて、地域ごとの医療・介護関係者の顔の見える関係を形成)

施策・課題の状況						
施策	医療連携体制の整備				評価	
課題	認知症高齢者の早期退院と在宅療養の支援					
指標	認知症入院患者の2ヶ月以内退院率				単位	%
目標値	現状値					
平成26年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
50%	42.9%	-	-	-		
事業費						
(単位:千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	予算				3,000	
	決算					
一般	予算					
財源	決算					
事業費累計	0	0	0	0	3,000	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性  (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)						
今後の方向性  (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						